

今後の介護人材確保対策事業について（案）

資料 3-2  
令和5年度 第1回  
新潟市介護人材確保対策協議会  
令和5年7月27日開催

事業名		事業概要		R3以降の協議会における主な意見	今後の方針
魅力発信	介護の魅力発信事業 (医療と介護の出前スクール)	現状維持	介護事業所で勤務する職員に協力を募り、小・中学校、高校で介護の魅力発信をすることで、介護職のイメージアップ・理解促進を図る。地域医療推進課と共同実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生へのアプローチをしていく必要がある</li> <li>・高校生が福祉に進路選択したくても、学校の先生に否定されるケースも多い。学生だけでなく、先生の考え方を変える機会があるとよい。</li> <li>・法人が行っている採用活動の事例を共有することで、新潟市の事業所全体の採用活動を底上げしていきたい。</li> <li>・養成校を出た学生が現場で活躍している状況であり、介護業界を引っ張るポジションとなっていることから、入学数を増やしていきたい。(近年養成校への入学数はほぼ横ばい、定員割れの状況)</li> </ul>	学校の代表者が集まる会議等に出向き、事業の売り込みが出来るよう、教育委員会と調整を行う。(令和5年度中実施予定)
	介護の魅力発信事業 (介護の魅力発信動画の活用)	新	令和3年度より公開している介護の魅力発信動画を活用し、デジタルサイネージで介護の魅力を広く周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者側から介護職の魅力・福祉職の魅力・やりがいなどをどんどんアピールし、社会的地位を向上させていく姿勢が必要。(Webや動画などを活用)</li> <li>・実際は他産業と比べても離職率はそれほど低くないのに、ネガティブキャンペーンをしている。</li> <li>・福祉(介護)は人間社会に必ず必要なものであり、裾野を広げていく必要がある。フォーラムなどを通じて市民への発信をした方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区役所に設置されたデジタルサイネージを活用し、市民の方に役所での待ち時間に見てもらい、介護の魅力発信を広く周知する。(令和5年度中実施予定)</li> <li>・介護の魅力動画を周知するためのチラシを作成し、医療と介護の出前スクールや区役所、関係機関等に配布する。(令和5年度中実施予定)</li> </ul>
	介護福祉士養成校学生表彰式	拡充	介護福祉士養成校から介護業界へ就職する学生(各校代表1名)を、新潟市の介護の未来を支える人材として表彰することで、在学中の学生や若者世代への介護への関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰事業において、入職3年以内の若手職員を対象とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生表彰については継続</li> <li>・拡充内容については別紙に記載(令和6年度より実施予定)</li> </ul>
就業促進	介護施設見学会	現状維持	介護職に興味がある人を対象に、オンライン等での介護施設見学会を実施し、就業促進を図る。ハローワーク新潟と共同実施。		介護職に興味がある求職者が、施設側に求めている情報と合うような撮影の仕方や説明を依頼していく。(令和5年度中実施予定)
	介護支援ボランティア事業	現状維持	福祉施設などでボランティア活動を行った場合、その活動時間に応じ、換金できるポイントを付与する「にいがたし元気力アップ・サポーター制度」を実施し、元気な高齢者の社会参加を推進。(地域包括ケア推進課実施)		今後も事業を継続していく。コロナ禍において受入を休止していた福祉事業所等が徐々に受入再開していることから、事業所の受入再開の支援とサポーターへの情報提供に力を入れていく。
	介護の担い手養成研修	現状維持	高齢者等に対し適切な生活支援や介護予防が提供できるよう、総合事業の基準緩和サービスの従事者となる方や生活支援等に係るボランティアに対して、心構えや必要な知識・技術を習得することを目的とした研修を実施。(地域包括ケア推進課実施)		今後も研修を継続実施していく(令和5年度は10月実施予定)。
定着促進	外国人介護職員受け入れ支援セミナー	現状維持	介護事業所が外国人介護職員の受け入れ環境を整備するためのセミナーを実施し、外国人介護人材の受け入れの促進及び定着を図る。		受け入れに関しての事業者側の困りごとや課題について、実際に受け入れを行っている事業所の取り組み方法を紹介してもらう。(令和5年度中実施予定)
	処遇改善加算取得促進セミナー	現状維持	介護職員の処遇改善加算や特定処遇改善加算について、加算の新規取得やより上位区分の取得に向け、市内の介護サービス事業所を対象としたセミナーを開催する。		昨年度のアンケート結果を踏まえて、事業を実施していく。(令和5年度中実施予定)
	介護職員などを対象とした専門研修	現状維持	介護職員などの専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、介護サービス事業所の職員やその管理者、地域包括支援センター職員などを対象とした認知症介護や虐待防止等の専門研修を実施。(一部地域包括ケア推進課実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用後のフォローアップ研修や職員を支える仕組みづくりが重要。一人ではなくチームでやっているという意識の醸成や事業所内で人材を育てていく意識が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(認知症介護等研修)</li> <li>介護職員等に対して、現在国が定める研修体系に沿った研修を継続実施していく。</li> <li>(虐待防止等研修)</li> <li>引き続き、養介護施設・事業所の管理者向けに虐待防止に係る研修会を実施。より多くの方に参加いただけるよう、前年度の研修後アンケートを参考にし、研修内容を検討や、オンラインでのライブ配信を行うとともに、併せて一定期間、繰り返し受講できるようアーカイブ配信も行う。</li> </ul>
	介護職員キャリアアップ支援事業	現状維持	介護サービス事業を行う法人が、介護職員等に対する研修や、資格取得に係る経費などを法人が負担した場合、市が補助金を交付することで、介護人材育成・確保を支援するもの。(補助対象経費総額の2分の1以内、上限10万円上限)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業の概要や申請・報告書類の記入方法が分かりにくいという声があったため、先月に説明会を実施(令和6年度以降も継続)</li> <li>・補助事業のチラシを配布し、キャリアアップに係る研修を開催している関係機関に周知を依頼した(介護労働安定センター、新潟県社会福祉協議会、新潟県介護福祉士会等)(令和6年度以降も継続)</li> </ul>
	処遇改善加算取得促進セミナー	現状維持	介護職員の処遇改善加算や特定処遇改善加算について、加算の新規取得やより上位区分の取得に向け、市内の介護サービス事業所を対象としたセミナーを開催する。		昨年度のアンケート結果を踏まえて、事業を実施していく。(令和5年度中実施予定)
	メンタルヘルス対策研修	新	メンタルヘルス対策について、管理者・職員向けの研修を実施し、働きやすい環境づくりを醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応・人員不足により現場も疲弊している状況。職員を対象としたアンガーマネジメント、メンタルヘルスなどをテーマにした研修を。</li> </ul>	メンタルヘルス不調と思われる職員への対応方法(管理者向け)やメンタルヘルス対策(職員向け)の研修を実施する。(令和6年度より実施予定)
	新規採用職員研修	新	若手新入職員向けコミュニケーション研修を実施し、外部との交流の機会を図り、離職防止へと繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人材の将来のキャリア形成をどのように進めて行くか検討する必要。職員のキャリア形成やワークライフバランスの推進を行い、長く働き続けることができる職場をつくることが重要。</li> <li>・横の繋がりを作るのが市の重要な役割である。(職員同士の交流の機会・研修の実施など)</li> </ul>	主体性の引き出し方や、傾聴力を高める研修を実施する。(令和6年度より実施予定)
その他	新潟市介護人材確保対策協議会	現状維持	介護人材の確保に向けて、関係者(事業者・養成校・行政)が現状課題の抽出や対応策の可能性について協議することにより、それぞれの役割や取り組むべきことを確認し、それを実現していくための具体的な方向性を見出すことを目的とする会議。		引き続き関係者(事業者・養成校・行政)が現状課題の抽出や対応策の可能性について協議。それぞれの役割や取り組むべきことを確認し、それを実現していくための具体的な方向性を見出す。